

会 議 録

会議の名称	令和3年度 第1回茨木市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和3年8月27日(金) 午後2時00分 開会・午後3時55分 閉会
開催場所	茨木市役所 南館8階 特別会議室
会長	小幡 範雄
出席者	小幡 範雄、金子 泰純、高山 美枝、大西 稔、木原 妙子、松本 和久、横山 賢一、森川 孝子、中井 猛夫、竹原 篤子、村上 誠 (11人)
欠席者	矢野 正 (1人)
傍聴人	1人
市	吉田産業環境部長、村上資源循環課長、千品資源循環課課長代理兼計画係長、吉岡環境政策課参事兼検査係長、上村環境事業課参事兼環境衛生センター所長、九鬼環境事業課課長代理兼業務係長、吉村下水道施設課課長代理兼計画係長、上田職員、西谷職員 (9人)
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 産業環境部長あいさつ 3 委員・市職員の紹介について 4 議題1 審議会会長及び副会長の選出について 5 会議の成立・議事の公開 6 議題2 令和2年度ごみ排出量・資源物量の推移について 7 議題3 令和2年度ごみ減量施策及び令和3年度一般廃棄物処理実施計画について 8 議題4 一般廃棄物処理基本計画の見直しについて 9 その他 10 閉会

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	1 開会
	2 産業環境部長挨拶
	3 委員・市職員の紹介について
	4 議題1 審議会会長及び副会長の選出について
事務局	これからの議事は、会長に議長を務めていただく。
	5 会議の成立・議事の公開
議 長	まず出席状況について、事務局より報告をお願いします。
事務局	審議会委員の出席状況は総数12名のうち出席11名という状況である。
議 長	過半数の委員が出席しているので規則により会議は成立している。議事進行にあたり、議事の公開について諮る。事務局から説明をお願いします。
事務局	本市では審議会等の会議の公開に関する指針により、審議会等の会議は個人に関する情報を審議する場合などを除き、公開を原則とし、審議会等に諮ったうえで決定することとしている。この審議会は、平成29年10月17日に、会議を公開とし、傍聴人に会議資料を閲覧、配布することができるとしている。また、会議録についても、議長に内容を確認いただいたうえで、ホームページ等で公開し、自由なご意見をいただく観点から、会議録に表記される発信者名は伏せて、A委員、B委員と表記する形で公表することとしている。会議の公開については、この決定に従った運用を行い、非公開とするべき案件が発生した場合、あらためて検討する。
議 長	公開を原則とし、非公開にする必要が生じたときは、随時協議させていただく。従って、今回の会議は公開とし、傍聴者への資料の閲覧を認める。また、会議録中の委員の氏名は伏せて公表することとする。 今回、傍聴者はいるか。
事務局	傍聴者は1名である。

議 長	傍聴者1名ということで、議事に移る。
	6 議題2 令和2年度ごみ排出量・資源物量の推移について
議 長	議題2と議題3は密接に関連しているので、続けて報告する。 まず議題2について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【議題2「令和2年度ごみ排出量・資源物量の推移について」の資料説明】
	7 議題3 令和2年度ごみ減量施策及び令和3年度一般廃棄物処理実施計画について
議 長	議題3について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【議題3「令和2年度ごみ減量施策及び令和3年度一般廃棄物処理実施計画について」の資料説明】
議 長	議題2及び議題3について何か意見等はあるか。
A 委員	災害廃棄物処理計画のハンドブックを全戸配布したとのことであるが、住民票を移動させていない一人暮らしの若者等にも配布されたのか。
事務局	広報誌と同配したため、広報誌の届くお宅には全戸配布させていただいている。
B 委員	議題2「本市のごみ排出量・資源物量の推移について」の資料中、平成30年度のデータは災害廃棄物を除くものとのことであるが、最終処分量は災害廃棄物も含まれているのか。
事務局	含まれている。
議 長	最終処分量は、災害廃棄物を分けた量では出せなかったと聞いている。
B 委員	最終処分量の部分だけ災害廃棄物が含まれているとは一般的にはわからないため、その旨注釈はつけた方がよい。
事務局	対応する。
C 委員	議題3「令和2年度ごみ減量施策及び令和3年度一般廃棄物処理実施計画について

	<p>て」の資料中、「取組1-1の5番目の項目「資源の再利用の促進」は、具体的には不用品交換会と記載されているが、コロナ禍での実施は難しいと思う。今後の取組はどうするのか。</p>
事務局	<p>リユース事業の今後の施策については、ある程度まとまった時点で、改めてご報告させていただきたいと考えている。</p>
議長	<p>取組の中に、フリーマーケットの開催は無いのか。</p>
事務局	<p>フリーマーケットについては開催していない。</p>
D委員	<p>資源物回収量の目標は、このままでは達成が難しいように見える。沢池多世代交流センターで小型家電の回収ボックスを撤去するなど、設置場所が減っているように思えるが、今後何か対策を考えているのか。</p>
事務局	<p>スプレー缶を回収するスポット収集でも小型家電を回収するようになったので、積極的にそちらを案内することで減少分をカバーしたい。</p>
D委員	<p>議題2の資料では人口構成比が見えない。実際に、自分の周りでも少子高齢化の影響により子ども会が解散するなどしている。集団回収するうえでこれらの問題があることを考慮して欲しい。</p>
議長	<p>指摘の通り、議題2の資料では、資源物の量しか記載がない。今後は、集団回収団体数の推移等必要なものは記載し、分析できるようにしておきたいと思う。</p>
D委員	<p>報奨金を支給している集団回収団体の数は、増えているのか減っているのか。</p>
事務局	<p>集団回収量自体は古紙の減少により減っているが、団体数については、昨年度を除き増加している。解散する子ども会についても、集団回収を自治会等に引き継ぐなど、活動が無駄にならない取組を行っている。今後も積極的に団体数を増やす取組は行う。要綱の見直しによる登録要件等の変更については、今後の検討課題としたい。</p>
A委員	<p>子ども会の集団回収については、加入率の低下や子どもの減少により、個々の負担が大きく辞めたいとの声を聴くため、増えることはないと思う。</p> <p>管理組合で集団回収を実施しているマンションでは、管理組合に出すのか、子ども会に出すのか悩むとの話も聞いた。ごみの減量を目的とするのであれば、集団回収ではなく、拠点回収を増やすのも一つの手であると思う。子ども会の数も増えな</p>

	<p>いだろうし、自治会も高齢化している状況では、集団回収に期待するのは難しいのではないかと。</p>
議長	<p>議題2の5ページでは、集団回収量は減っているが、市の収集は増えており、ご指摘のような少子高齢化による団体の活動の低下の影響があるように見える。</p> <p>全体の資源物回収量の目標見直しも検討する必要があると考えるが、事務局の意見はどうか。</p>
事務局	<p>今年度、一般廃棄物処理基本計画を見直す予定であり、資源物の目標値については、現在のものとは違う視点で設定するよう考えている。そちらの案ができれば、当審議会でご審議いただきたい。</p>
B委員	<p>集団回収については、茨木市は人口の多い吹田市より回収量が多く、一定の評価ができる。資源物回収量減少の原因は、紙、特に資源物回収量の半分近くを占める新聞紙の需要が減っていることと新聞紙自体の軽量化の影響であり、今後雑がみや普通ごみに含まれる紙ごみの再資源化を行ったところで、量が増えるとは考えにくい。</p>
議長	<p>茨木市は雑がみについてはどう取り組んでいるのか。</p>
事務局	<p>雑がみについては、雑がみ回収袋を廃棄物減量等推進員等に配布し、周知している。また、集団回収においては、雑がみの回収量を含めて報奨金を支払っている。</p>
A委員	<p>資源物の日に出した新聞を、市が収集に来る前に勝手に持って行く人がいる。収集のルートを変えることで、持って行かれる前に収集できないか。</p>
事務局	<p>資源物の持ち去りについては、パトロールを行い、警告書も発したこともあるが、いたちごっことなっている。また、コロナ禍の中では、密になりやすい資源物パトロールも難しくなっている。コロナ禍が落ち着いた場合は、活動を強化したいと考えている。</p>
事務局	<p>収集ルートの変更については、特定の収集ルートを変更すると、他の収集地域への影響もあるため、簡単に変えることは難しい。古紙の拠点回収を行っているので、持ち去り防止対策としてはそちらも活用いただきたい。</p>
B委員	<p>議題3の「その他の事項」にある取組2「市民・事業所・市等の連携」とは具体的にどのようなものがあるのか。</p>

事務局	<p>例えば、本審議会では、市民・事業者・行政や学識経験者をメンバーとして、認識の共有化や取組について話し合っており、これが連携にあたりと考える。</p> <p>また、自治会やこども会、事業所などと、ごみに関する問題やトラブルについて関係者と連携をとることもその取組にあたりと考える。</p>
事務局	<p>フードドライブにおいて、NPO等の事業所と連携すること、また事業所に講師を依頼し、市民向け・事業所向けに講演いただくこともこの取組にあたりと考える。</p>
B委員	<p>そのように読み取れないので表現を直して欲しい。</p>
議長	<p>表現は検討することとする。</p>
D委員	<p>高齢化により増えるであろうおむつについて、事業所と連携してリサイクルの可能性を探って欲しい。</p>
<p>8 議題4 一般廃棄物処理基本計画の見直しについて</p>	
事務局	<p>【「議題4 一般廃棄物処理基本計画の見直しについて」の資料説明】</p>
議長	<p>議題4について何か意見等はあるか。</p>
B委員	<p>見直しのポイントで、食品ロス、プラスチックごみの削減に触れている。食品ロスについては、ある程度方向性があるかと思うが、プラスチック対策の方向性が今一つ分からない。</p> <p>プラスチック対策については、今後、国が方向性を示すと思うが、例えば容器包装プラスチック対策などをどうするのか今回の見直しで議論するのか。</p>
議長	<p>プラスチック対策について、今回の計画でどのようにするのかイメージはあるのか。</p>
事務局	<p>どこまで計画に記載するのかイメージは決まっていないが、可能な限りプラスチック削減に関する内容は記載したい。容器包装プラスチックについては、新たに取り組むエコショップ認定制度により、容器包装プラスチックを回収している事業所をエコショップとして認定するなどをし、減らすための取組を行う予定である。</p>
事務局	<p>新聞報道等であるように、来年4月より国がプラスチック削減への大まかな方向性を示しているが、容器包装プラスチックを回収した場合、品質によってはバーゼル条約により国内でだぶついてしまう可能性もある。すでに回収している他市のや</p>

	<p>り方で問題ないか、収集体制、分別区分等、影響を考えて方向性を出したいと考えている。</p>
議 長	<p>少なくとも、プラスチック削減について計画に記載はするのだろうが、食品ロスのように目標を立てることはできないか。</p>
B 委員	<p>容器包装プラスチックをどうするか、検討するのであれば今すぐに取り組まなければ、今回の見直しに間に合わないと考える。</p> <p>家庭系ごみ量の削減についても、目標値までまだ開きのある現状を考え、多くの他の自治体のようにごみの有料化について、検討しないのか。</p> <p>また、資源物回収量の目標について、単純に目標値を下げることはしないかと思うが、回収量を上げるためにどうするのか。例えば、新しい品目としてプラスチックを加えるのか。普通ごみを有料化し資源物を無料化することで、資源物回収量を増やす手段もある。</p> <p>いずれにしても、どういう方向性で、どれぐらい積極的に取り組むのかわからないと短期間で計画の見直しをすることはできないと考える。</p>
議 長	<p>計画の残り期間が短く、見直しにかけられる期間も短い中、有料化については検討して方向性を示すことはできるかと思うが、プラスチック等の目標を固めるのは難しいと思う。どこまでどうするか、具体的に検討していることはあるか。</p> <p>ごみの有料化を検討するとの記載はないがどうか。</p>
事務局	<p>ごみの有料化については、今から検討し、有料化を視野にした目標値を今回の一般廃棄物処理基本計画の見直しに入れるのは、難しいと考える。</p> <p>また、今回の資料の中にプラスチック削減についての真新しい施策はないため、現段階の資料に基づいて今後の目標を議論いただきたい。</p>
議 長	<p>プラスチック削減の目標やごみの有料化については、審議会で議論したうえで、検討事項として具体化するのかを、今後の課題とするか決めたいと思う。次回の素案提示時に、主な改定ポイントの3項目の具体的な中身について、今回の意見を反映したリストの整理を事務局にお願いしたい。</p>
D 委員	<p>先ほど、来年4月以降のプラスチック削減に関する大まかな方向性を国が示したとの話があったが、計画の見直し時に何らかの形で反映しないといけないのではないか。</p>
事務局	<p>今回は、小売店でのプラスチック有料化等の話が中心であり、その中で行政に取り組めるものがあれば、計画の見直しに反映したいと考える。また、対応できない</p>

	部分については、将来的な課題として記載することになるかと思う。
議 長	他に意見はあるか。
A 委員	色々なプラスチックごみの回収を始めるとしても、簡単にリサイクルできるのか。行政の負担は増えないのか。
議 長	ほとんど熱回収になる。物から物へのリサイクルは 15%程度であり、また、混合のプラスチックは、物から物へのリサイクルができない。
B 委員	促進法では有料化することによって、できるだけプラスチックを使わないようにすることが法律の趣旨である。現在、容器包装材について国が推奨しているリサイクル方法は、燃料代わりにすること（RPF）であるが、それも結局は CO2 を排出することになる。 市民としてできるのは、プラスチックをできるだけ使わないことだと考える。
議 長	小売店ではどういう取組をしているのか。
E 委員	紙製のストローを取り扱うようにし、関係各社に協力依頼をしている。
A 委員	個人レベルではどういった取組をすればよいのか。なるべく店頭等の資源物の回収箱に出す程度でよいのか。
議 長	それでよいかと思う。また、ペットボトルの代わりにウォーターサーバーを使う等できるだけプラスチックを使用しないことが重要と考える。
議 長	他に意見はあるか。
B 委員	市民にアンケートを取ったとのことだが、回答のうち、インターネットで回答した方は、もともと意識の高い傾向があると考え。回答方法ごとに結果を分けて分析した方をお願いしたい。
事務局	考慮する。
B 委員	議題 3 の資料 2 の（1）ごみ処理実績量（見込量）の数値が合わないため、精査して欲しい。また、見込であるため 1 t 以下の数値は必要ないと考える。同様に、（2）ごみ処理計画量も小数点以下 00 が並び、不自然であるため、必要な部分だけ注釈をつける等、記載方法は工夫して欲しい。

議 長	指摘を受けた部分は、事務局に修正をお願いしたい。
議 長	他に意見はないか。 (特になし)
	9 その他
議 長	事務局から他に何かあるか。
事務局	【各委員への連絡事項の伝達】
議 長	本日の審議会はこれで終了とする。
	10 閉会